埼玉がん薬物療法看護研究会趣意書　　2016.8.31

2022.8.27 改正

埼玉県のがん医療、中小規模の医療施設が多く、それらが都心のベッドタウンの患者を支えている。一方で、県内の看護教育機関、高度実践看護師教育施設も少ない実状がある。そのため、情報交換、相互支援、実践研究、研究的視点で実践を評価、学会等で発信するための助言、指導を受ける機会も十分とは言えない。そこで、以下をねらいとし、2016 年 8 月に埼玉がん化学療法看護研究会（Saitama Cancer Chemotherapy Nursing Seminar : SCCNS）を発足させた。2022 年 8 月に 6 年間の活動を振返り、会の名称と活動方法を見直した。分子標的製剤や免疫療法などがん治療の薬剤の範囲が広がっており、認定看護師教育課程名称の変更に伴い、「化学療法」を「薬物療法」に変更した。

ねらい

1. がん薬物療法看護のテーマを中心に、がん看護の質の向上をめざします。
   （外来、病棟、相談部門、在宅、地域の場、治療前から治療後の症状緩和、看取り等の時期も限定しません）
2. 埼玉県内を中心とするがん薬物療法看護に携わる人のネットワークをつくり、施設を越えた人材の交流と相互支援を促進する。
3. 情報交換と相互学習の機会をつくる。
4. 守秘義務を遵守し、信頼できる関係の中で、事例検討、研究計画、発表準備の検討を行う。

主な活動時期と場所（2022 年度より会合は 2 回）

年 2 回の会合　8 月、12 月　＊12 月東京都立大学がん薬物療法看護セミナー共催

主な活動場所　埼玉医科大学保健医療学部または国際医療センター
東京都立大学荒川キャンパス
メンバーの医療施設
ウエスタ川越　等

主な参加者 : 埼玉県内で活動しているがん化学（薬物）療法看護認定看護師、専門看護師、がん化学療法看護に関心のある看護師、看護学生、医師、コメディカル等

運営

・普段の情報交換、相互サポートは SCCNS グループラインで行う
・会合のテーマや開催準備、進行等は、年度ごとに担当世話人が企画運営する

＜当面の担当＞2022 年度は福井・葛貫
2023 年度は宮川・前原
2024 年度は玉木・葛貫が担当

＜世話人　　2022 年度～＞

代表世話人（会計）	福井里美	東京都立大学	2016 年 9 月
世話人（監事）	玉木秀子	埼玉医科大学国際医療センター	2016 年 9 月
世話人	前原みゆき	埼玉県立精神医療センター	2016 年 9 月
世話人	葛貫由香	新座志木中央総合病院	2018 年 8 月より
世話人	宮川瑞代	埼玉県立がんセンター	2018 年 8 月より